

1 単元名 「Unit 1 Flower Viewing」		
2 単元の目標 ○ 相手が納得できるように理由をつけて自分の考えや気持ちを伝える。 ○ 「～に…するよう言う/頼む tell/ask～to…」の文構造・意味を理解する。		
3 評価規準 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ・既習の表現やジェスチャーを用いて、自分の考えや気持ちを話している。 【外国語表現の能力】 ・理由をつけて自分の考えや気持ちを伝え、相手を説得できる。 【言語や文化についての知識・理解】 ・「～に…するよう言う/頼む tell/ask～to…」の文構造・意味を理解している。		
4 教材 本単元では、バスの中で、赤ちゃんを抱いて立っている女性が目の前にいるにもかかわらず、席を譲らない青年が取り上げられている。まず、この青年に席を譲るよう説得する活動を行う。さらに、マナーの悪い人がいる状況をいくつか設定して、どう解決するかを示すスキットを作成させることにより、相手が納得できるように理由をつけて自分の考えや気持ちを伝える力を養うとともに、公共の場でのマナーについて考える。何が課題かを発見し、いかに解決するかを考え、そのためには相手をいかに説得すればよいかを考えながら実際に交渉することで、思考力・判断力・表現力を育成する。ALTとのTTを行うことで、モデルスキットを提示したり、生徒がスキットを作成する際は、2人が同時に支援に当たることができるようにする。		
5 主な学習活動 (1) 単元の展開（全7時間）		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第一次 (3)	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の対話の内容を理解する。 「～に…するよう言う/頼む tell/ask～to…」の文構造・意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文を読解する前に、既習の表現を用いて、挿絵の人物をそれぞれ描写させ、状況を推測させる。バスの中の場面は、何が問題かを考えさせる。
第二次 (4)	<ul style="list-style-type: none"> 自分とは違う立場から物事を考えて意見を述べる練習をする。 テーマについて、理由をつけて自分の意見や気持ちを述べる練習をする。 相手を上手に説得する練習をする。また、相手の意見の意味を確認したり、反論したり、納得したりする表現の練習をする。 教科書に登場するマナーの悪い人に対して席を譲るよう説得する練習をする。注意する役とされる役に分かれて役割演技する。 公共の場でのマナーについて、グループごとにスキットを演じる。 本時 スキットの中で誤った使用表現があれば、適切なものに直したり、より適切な表現や別の表現方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文から、自分の気持ちを伝えたり、相手を説得するのに有効な表現や、相手に反論したり認めたりするのに役立つ表現を探させる。 I think～ because~/You should~/Let's~/I feel~/I don't think～ because~/You mean~/OK. You win. 等の表現が有効なことを確認する。 既習の表現やジェスチャーを使わせる。 自分の考えを伝え合う言語活動をさせながら、語彙や表現の誤り等については取り出して指導し、文法は活用させながら定着を図る。
(2) 本時の学習（全6/7時間）		
目標：相手が納得できるように理由をつけて自分の考えや気持ちを伝える。 展開： ①相手を説得する際の表現を確認する。 ②教師のモデルスキットを見る。 ③公共の場での問題行動に対して注意する人とされる人とは分かれ、どのように振る舞うかのスキットを作成し、演じる。		

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

学習指導要領 2 内容(1)言語活動 イ 話すことの(イ)「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」と、(エ)「つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。」を取り上げ、その際、(2)言語活動の取り扱い イ(ウ)第3学年における言語活動の「様々な考えや意見などの中からコミュニケーションが図れるような話題を取り上げること。」に留意する。また、第3の3「…道徳の時間などとの関連を考慮しながら…」とあるが、公共の場でのマナーを考えさせることにより、道徳教育との関連を図る。

【言語活動の充実の工夫】

課題発見・解決能力、論理的思考力、多様な視点から考察する能力（クリティカル・シンキング）、コミュニケーション能力の育成が求められている。本単元においては、マナー違反について考えさせるとともに、それを発展させた、より現実的な場面を設定し、そこでの対話を考えさせることにより、上記能力や技能の向上を図る。演じる際は、衣装や小道具も用意し、臨場感のある演技とする。

毎時間の授業で、テーマを与えて1分間対話を続ける練習をさせ、以下のステップにより、より効果的に相手に交渉したり説得したりできるようにする。なお、Step1・2は、教科書を基にした活動であり、Step3・4はオリジナルのものである。生徒の学習の到達状況や日常生活における課題等、実態に応じて場面設定を考える。

Step 1：自分とは違う立場から物事を考えて意見を述べる。

① 「嫌い」の立場で理由をつけて意見を言う。

(Sunday / cakes / TV)

② 「好き」の立場で理由をつけて意見を言う。

(Monday / snakes / homework)

例： I don't like Sunday because I can't meet my friends.

I like snakes because it looks strong.

Step 2：テーマについて、理由をつけて自分の意見や気持ちを述べる。(2人1組になって、次の質問について互いに聞き合う。)

○ When you are free, which do you like better, watching a baseball game or seeing a movie? Why?

○ Someone says to you, "I love you." Which is better, by phone or by letter? Why?

Step 3：教科書に登場するマナーの悪い人に対して、席を譲るよう説得する。

① 挿絵の人物の問題点を指摘する。(バスの中で携帯使用、席を独り占め 等)

② 問題行動に対して、理由をつけて注意する。

Step 4：グループごとに、次の場面と役割分担でスキットを作成して演じる。

まず、各場面における問題点を考え、スキットにおいては、問題点を指摘し注意する人と、される人に分かれる。注意を受けた人は、すぐには納得せず、まずは反論する。それに対して、いかに説得するかを考える。スキットを見ている生徒には、マナー違反を注意する場面について、「～に…するよう言った/頼んだ told/asked~to …」の文を作らせることで、文法の定着を図る。

Situation 1： You are on a bus. An old man gets on the bus. He has difficulty standing. The bus is full. Some of your friends are seated. What do you say to them?

* characters: old man / friends / main character(s)

Situation 2： You go to a convenience store with your friends. Each of you buys something. When you get outside, some of your friends throw their trash on the ground. What do you say to them?

* characters: a convenience's clerk / friends who throw trash on the ground / main character(s)

Situation 3： You are on a train with your friends. At the next stop many people may get on the train. Your friends have their school bags and their feet on the seats next to them. Other people cannot take seats. What do you say to your friends?

* characters: other passengers / friends with bags and feet on seats / main character(s)

○ 毎授業始めの活動

決められたテーマの下、毎時間ペアで1分間会話を続ける。質問されたことに対して、Yes / Noだけで答えるのではなく、自分の言葉を付け加えること、また、うなづいたり、相づちを打ったりすることで、互いに気持ちよく会話を続けるようにする。

例： A: What did you do last weekend? (今日のテーマ)

B: I went to Tokyo. I was very busy. (事実に対する気持ちを言う。)

A: Really? Why? (つなぎ言葉で会話を円滑に進める。)

B: Because I visited my grandmother in Tokyo and joined a festival with her. She enjoyed dancing in the festival.

A: Your grandmother enjoyed dancing? Wow!

(相手の言ったことを繰り返すことにより、相手がさらに気持ちを伝えやすくする。)

思考力・判断力・表現力等の学習活動の分類：①，②，④ (※分類番号はP5表参照)